

様式2		令和7年度 清瀬市立清瀬第六小学校		学校評価計画	
学校教育目標		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動			
よく考え進んで行動する子供 仲良き力を合わせる子供 健康で心豊かな子供		育成を目指す資質・能力			
目指す学校像(ビジョン)		○問題解決力 ○人間関係形成力 ○健康・安全、体力向上に関する力			
【目指す学校像】 【目指す児童・生徒像】 【目指す教師像】		特色ある教育活動 ○心の居場所となる学校づくり ○「できる。分かる。」との思いをもつ児童 ○地域とともにある学校			
前年度までの学校経営上の成果と課題		○学校だよりを活用し、児童のよいところを積極的に発信することで、保護者や地域からの関心度がより高くなった。 ●自己肯定感を十分に高めることができず、登校しづらいなどにつながった。			
柱	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	次年度以降の改善方策
		評価	課題及び次年度以降の改善方策(案)	学校関係者による「自己評価」についての評価	学校関係者評価の結果を踏まえた改善方策
		取組指標	成果指標		
人権教育の推進	縦割り班活動や学級活動で班や集団で活動する機会を計画的に実施し、互いを認め合い、高め合う力を育成する。	4	4	特別活動を中心に、「協働的な学び」の充実を図り、児童相互の豊かな関わり合いを通して、児童の自他を尊重する態度を育むことができた。次年度も、縦割り班活動や学級活動の充実を図るとともに、各教科における話し合い活動等をより一層充実させる。	縦割り班活動や学級活動の充実を図り、異学年交流等により児童が他者とコミュニケーションを図る活動を推進するとともに、各教科における話し合い活動等をより一層充実させることで、互いの考えを尊重し、高め合う態度を育む。
	いじめ調査を年間3回以上実施し、実態を把握し早期発見・早期対応につとめる。	4	4	年3回以上のいじめ調査を実施するとともに、日常的なSCによる相談受付や、長期休業明けの「先生あのね週間」(全教職員による相談受付)などにより、相談体制の充実を図ることができた。次年度以降も、取組を継続して、児童の不安や悩みを受け止めるとともに、いじめの未然防止、早期発見・早期対応につとめる。	年3回以上のいじめ調査、日常的なSCによる相談受付や、長期休業明けの「先生あのね週間」(全教職員による相談受付)などにより、相談体制の充実を継続するとともに、日常的に全教職員が児童の不安や悩みを受け止める体制を構築し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。
確かな学力の定着	問題解決型学習を取り入れ、「自力解決する時間」「考えを発表する時間」「何を学んだかを振り返る時間」を通して、児童が学び合い、高め合う学習活動を積極的に展開する。	4	4	全ての教科等において、問題解決型の学習を取り入れ、児童が学び合い、高め合えるような学習活動を展開した。自ら学習課題を設定して追究する取組により、児童の思考力、判断力、表現力を高めることができた。次年度は、児童が主体的に取り組む学習活動を更に展開し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。	人権教育の視点から、問題解決型学習を展開し、児童が自他の考えを尊重して協働的に学び取組の充実を図る。また、児童が主体的に取り組む学習活動を更に展開し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
	既習の学習内容を確認した上で、新たな内容の指導を行うとともに、ICT機器の活用も図りながら家庭に働きかけ、家庭学習の充実も図る。	4	3	各学年において、算数科や国語科を中心に、既習事項を振り返る取組や、知識・技能の定着に係る取組の充実を図ることができた。保護者と連携した家庭学習の定着を図るための取組をより一層推進するとともに、1人一台端末の活用等による知識・技能の定着を図る取組を充実させていく。	保護者と連携して、児童の学習へ向かう態度や努力する姿勢を価値付け、学習意欲向上を図るとともに、児童の生活習慣や健康に留意しながら、1人一台端末の活用等による知識・技能の定着を図る取組を充実させていく。
体力向上	東京都統一体力テスト結果を分析するとともに、体育部を中心とした教員による模範授業を行い改善した授業を展開する。	4	4	体育の授業改善を推進し、十分な運動量を確保するとともに、児童の体力向上に係る取組を計画的に実施することができた。今年度の東京都統一体力テストの結果を受けて、児童の運動習慣確立に係る取組をより一層充実させるとともに、「投げける力」の向上に資する取組を推進し、体力向上を図る。	今年度の東京都統一体力テストの結果より、児童が自らの課題について把握し、すでに体力向上に取り組めるように指導、支援していく。また、運動習慣確立に係る取組をより一層充実させるとともに、体力向上に資する取組を通して、児童の自己肯定感を高めていく。
	食育の視点から健康を考える活動を実施するとともに、常に自らの生活を振り返る学習活動を実施する。	4	4	食育の視点による給食指導を行い、児童の「食」に関する知識と「食」を選択する力の習得を図ることができた。次年度は、給食指導及び家庭科、体育科の保健領域において、児童の「バランスよく食べる」ことに対する意識の向上を図り、食育を推進する。	給食指導及び家庭科、体育科の保健領域において、児童の「バランスよく食べる」ことに対する意識の向上を図り、食育を推進する。また、引き続き、地場野菜の活用等により、児童が「食」について考え、健康に対する意識を高めていけるように指導していく。
特色ある教育活動	ライカを中心とした学校図書館、校内研究での学校図書館を活用した言語活動の充実を通して、心の居場所となる学校づくりを推進する。	4	4	「六小ライブラリ&カフェ(六小ライカ)」の取組により、学校図書館を活用した児童の居場所づくりや地域交流を推進することができた。また、校内研究を通して、学校図書館を活用した言語活動の充実により、児童の語彙力や読解力の向上を図ることができた。次年度も、学校図書館を活用した様々な取組を充実させていく。	引き続き、学校図書館を活用した言語活動の充実により、児童の語彙力や読解力の向上を図るとともに、「六小ライカ」において、児童や地域の方々が交流するための様々な取組をより一層充実させていく。
	地域人材を活用した体験や問題解決学習を実施し、多面的・多角的な見方や考え方の育成を図る。	4	4	「赤ちゃんのチカラプロジェクト」(赤ちゃんとの交流を通して命について考える活動)や農家の方との交流、地域の方を招いての「昔遊び」など、地域の方々との連携により、豊かな体験活動を充実させることができた。次年度は、各教科等の学習において、更に地域人材の活用を図っていく。	「赤ちゃんのチカラプロジェクト」(赤ちゃんとの交流を通して命について考える活動)や農家の方との交流、地域の方を招いての「昔遊び」など、地域の方々との連携による豊かな体験活動を継続実施するとともに、各教科等の学習における地域人材の活用をより一層図っていく。
児童が楽しく現通える	セーフティ教室、自殺未然防止教育、薬物乱用防止教室、SOSの出し方に関する教育を実施し、児童の危機管理意識を醸成する。	4	4	各学年の発達段階に応じた安全教育の充実により、児童の安全に対する意識向上を図ることができた。次年度も、セーフティ教室等の継続実施により、児童が、安全に過ごすための知識や技能を身に付け、それらを基に選択、判断できるようにする。	次年度も、セーフティ教室等の継続実施により、児童が、安全に過ごすための知識や技能を身に付け、それらを基に選択、判断できるようにする。また、引き続き保護者、地域の方々との連携による登下校時等の見守りを行う。
	六小のきまり、教職員の共通理解による指導により、児童の小さな変化を見逃さない風土の醸成を図る。	4	4	「六小のきまり」やマナーを守って生活することについて、指導を重ね、児童の規範意識を向上させるとともに、児童の小さな変化を見逃さないように、全教職員による組織的な見守りを行うことができた。次年度も、組織的な見守りを実施するとともに、全ての教育活動において児童の自己指導力を育み、規範意識の向上を図る。	児童の小さな変化も見逃さないように、全教職員による組織的な見守りを継続実施する。また、全ての教育活動において児童の自己指導力を育むとともに、保護者や地域の方々との連携して、児童の規範意識向上を図る。